

令和元年度 福祉保健活動拠点事業実績評価（鶴見区）

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
鶴見区 福祉保健活動拠点	(社福) 鶴見区 社会福祉協議会	A	<p>(場の提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用調整会議、ボランティアに関する講座及び助成金説明会などの情報提供を通じ、利用団体との連携や支援を行うことが出来ています。 ・登録ボランティアを中心に声をかけ、ボランティア交流会を企画するなど、ボランティア同士の経験を共有する場を設けることができました。引き続き、場の提供によりボランティア希望者個々の活動を繋げ、継続していきやすい環境づくりに努めてください。 ・諸室の一斉予約日の際には、希望日が重複した場合、利用者同士での話し合いの上で解決しながら利用をする姿が見られ、利用団体同士のコミュニケーションにより解決が図られるよう、調整することができています。 <p>(ボランティア業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協分科会やボランティア分科会などの会議やボランティア講座などの企画、さらに区役所・関係機関との情報共有を定期的に行っているなど、地域や関係機関に対するボランティア関連情報提供を適切に実施できています。これらにより、ボランティア等に関する分析を実施することができている、など一定の取組みにつながっています。 ・今後は、上記取組みなどによって得られた知見を集約し、引き続きボランティアの在り方について検討するとともに、“鶴見ならではの”の特色や強みを生かした事業を進めていくことを期待します。 <p>(他の関連組織とのネットワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉保健課題への協力についても、これまで経緯の体系づけを行いきれなかった個別的な区民からの相談に対しても、積極的なアウトリーチやアセスメントを関係機関・地区担当者と連携し行い、課題解決につながっています。 ・地域課題が複雑化する中、関係機関との連携はより重要になっていきます。より多様な主体を巻き込みながら、ネットワーク構築を進めてください。区役所もその一員として、福祉保健活動拠点、区社協及び地域ケアプラザ等関係機関との連携を行っていきます。